

【重要】

新型コロナウイルス感染症の長期化しており、生徒の皆さんが個々に抱える状況を直接把握するため、無作為に抽出された専門学校を通じ、一定数の生徒に対して調査を実施することとなりました。抽出された専門学校におかれては、御協力いただくとともに、都道府県等において、その旨周知いただきますようお願いします。

事 務 連 絡
令和 3 年 3 月 5 日

各 都 道 府 県 専 修 学 校 主 管 課
各都道府県教育委員会専修学校主管課
厚生労働省医政局医療経営支援課 御中
厚生労働省社会・擁護局障害保健福祉部企画課

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課

新型コロナウイルス感染症による生徒の学生生活への影響に関する調査について（依頼）

各都道府県及び都道府県教育委員会（以下「都道府県等」という。）におかれては、各専修学校専門課程（以下「専門学校」という。）における令和 2 年度の学校運営について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための対策を講じつつ、生徒の学修機会を確保するための様々な工夫等を講じるよう御指導いただいております。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に困難な生徒や不安や悩みを抱える生徒に対しては、生徒に寄り添ったきめ細かな対応を行っていただくよう、これまでも累次通知や事務連絡等において依頼し、各専門学校において様々な取組が行われていることに御配慮いただいていると承知しています。

生徒の修学等の状況については、別途お示ししているとおり、中途退学者数や休学者数は、令和 2 年 12 月時点では、全体として昨年度から大きく変化していませんが、年度末に向けてさらに増加することも想定されます。また、中途退学や休学に至らないものの、悩みを抱える生徒がいることも想定される場所です。

こうしたことを踏まえ、文部科学省としては、生徒が個々に抱える状況を直接把握することで、今後の支援に役立てるべく、無作為に抽出した専門学校に御協力をいただき、一定数の生徒に対して直接調査を実施することとなりました。

た。都道府県等におかれては、年度末に向けて御多忙の中、恐縮でございますが、抽出された専門学校において調査の実施について御協力をいただくことについて周知をお願いします。なお、抽出された専門学校に対しては、個別に連絡を行い、調査協力を依頼させていただきますため、この事務連絡をもって選ばれたわけではない点についてもあわせて御留意ください。

各都道府県におかれては所轄の専門学校に対して、各都道府県教育委員会におかれては所管の専門学校に対して、国立大学法人におかれてはその設置する専門学校に対して、厚生労働省におかれては所管の専門学校に対して、周知されるようお願いいたします。

(別紙)

○別紙1「調査の実施概要」

○別紙2「調査実施ガイドライン」【抽出された専門学校にのみ文部科学省から送付】

○別紙3「生徒への案内例」【抽出された専門学校にのみ文部科学省から送付】

※調査の迅速性の観点から別紙2及び3については今回に限り文部科学省から個別に専門学校へ送付いたします。

< 本件担当 >

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課
専修学校教育振興室専修学校第一係
直通：03-6734-2915

調査の実施概要

1. 調査の目的

本調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒の悩みごとや、経済的な状況、学生生活の状況などについて実態を把握することにより、今後の国及び専門学校における生徒への支援策の検討に資することを目的として実施します。

2. 調査の実施体制

文部科学省において、無作為に抽出された専修学校専門課程（以下「専門学校」という。）の協力を得ながら実施します。

3. 調査実施期間（学生が回答する期間）

令和3年3月5日（金）～3月26日（金）

4. 調査の対象

調査対象専門学校の生徒（正規課程の1年制以上） 約700名
（1校あたり10名程度、専門学校数は70校程度。）

5. 調査の方法

専門学校が無作為に生徒10名程度を抽出した上で、専門学校から対象の生徒に対して調査の協力依頼を案内していただきます。依頼を受けた生徒は、文部科学省がインターネット上に設置したWEBサイトにアクセスし、回答します。

※生徒の抽出方法は、「調査実施ガイドライン」においてお示しします。

※令和3年3月時点の内容を回答いただきます。

6. 調査事項

- ・ 生徒自身の悩み（授業、進路、経済的な状況、友人関係）
- ・ 生徒の経済的な状況（支援状況、アルバイト状況）
- ・ 生徒が通う専門学校の授業の状況（オンラインの状況や満足度） など

7. その他

- ・ 回答結果は、専門学校が特定される形で公表しません。